

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年1月28日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【ガレキの仮設集積場所の管理不備について】 原子力保安検査官より、ガレキの仮設集積場所について、以下の指摘を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none">・区画管理(立入制限など)は十分か。・線量管理(線量表示、測定頻度)は適切か。 <p>現場を確認したところ、エリア区画に用いている安全棒がカラーコーンから外れていた。 ガレキ表面に線量表示を掲示していた。 また、線量測定および線量表示は社内ガイドに定める期限(1回/3ヶ月)を超過していた。</p> <p>これらを踏まえ、以下の対応を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">・エリア区画に用いている安全棒をカラーコーンに取付けた。・ガレキ表面に表示していた線量表示を見やすいよう区画エリアの出入口に掲示位置を変更した。・線量測定を実施し、線量表示を更新した。 <p>今後、原因を究明するとともに再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	1月22日